

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
公的扶助		(社精) 必修 (発) 選択	2	2.3	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
手塚 恵	講師控室	kyoumu		授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	<p><目的>本科目では、社会福祉士として貧困状態にある人や公的扶助を受けている人の支援をするため、貧困の実態、社会環境を理解し、その歴史や関連する法学を理解することを目的とする。 <概要>学生が講義やディスカッション、グループワーク等を通じて考え、言語化して理解を深めることができるよう、授業を進める。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他()			
学習上の助言	知識の定着を図るために、教科書や配布資料等から気になるワードを自分なりに文献で調べることで探求する姿勢を身につけることが望ましい。					
教科書	最新・社会福祉士養成講座 4 初版 貧困に対する支援 /編:日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版					
参考書	指定参考書なし					
外部教材	なし					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針			
①	貧困の概念を理解し、説明することができる。		HSU(1)(2)、WP(1)(5)			
②	貧困状態にある人の生活実態と取り巻く社会環境を理解し、説明することができる。		HSU(2)(3)、WP(2)(3)(5)			
③	貧困の歴史について理解し、説明することができる。		HSU(2)、WP(3)(5)			
④	貧困に対する法制度について理解し、説明することができる。		HSU(2)、WP(5)			
⑤	貧困に対する支援における機関と専門職について理解し、説明することができる。		HSU(2)(4)、WP(2)(6)			
⑥	貧困に対する支援の実際について理解し、説明することができる。		HSU(2)(3)、WP(1)(2)(3)			
授業計画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	オリエンテーション(授業の進め方、評価等についての説明、学習のポイント)	講義	シラバスを把握しておく。教科書の内容を把握しておく。	4		
2	公的扶助の概念について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書(第1章第1、2節)を精読する。	4		
3	貧困の概念と生活実態について学ぶ①	講義 グループワーク	教科書(第2章第1、2節)を精読する。	4		
4	貧困の概念と生活実態について学ぶ②	講義 ディスカッション	教科書(第2章第3節)を精読する。	4		
5	貧困の歴史について学ぶ①	講義 グループワーク	教科書(第3章第1、2節)を精読する。	4		
6	貧困の歴史について学ぶ②	講義 ディスカッション	教科書(第3章第3節)を精読する。	4		
7	生活保護制度について学ぶ①	講義 グループワーク	教科書(第4章第1節)を精読する。	4		
8	生活保護制度について学ぶ②	講義 ディスカッション	教科書(第4章第2節)を精読する。	4		
9	低所得者に対する法制度について学ぶ①	講義 グループワーク	教科書(第5章第1節)を精読する。	4		
10	低所得者に対する法制度について学ぶ②	講義 グループワーク	教科書(第5章第2節)を精読する。	4		
11	低所得者に対する法制度について学ぶ③	講義 ディスカッション	教科書(第5章第3、4節)を精読する。	4		
12	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割について学ぶ①	講義 グループワーク	教科書(第6章第1、2、3節)を精読する。	4		
13	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割について学ぶ②	講義 グループワーク	教科書(第6章第4、5節)を精読する。	4		
14	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割について学ぶ③	講義 グループワーク	教科書(第6章第6節)を精読する。	4		
15	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割について学ぶ④	講義 ディスカッション	教科書(第7章第1、2、3節)を精読する。	4		
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照					

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合(%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		60	0	0	0	40	100	
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20	
評価のポイント		評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標							
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。 試験は講義で用いた教科書、配付プリントから出題する。 予習と復習を行い、理解度を深め知識の定着を図ること。 ・試験形式(筆記試験) ・問題形式(選択式・記述式・穴埋め式など)					Teams 上に試験解答例を掲示する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	講義中に理解を深めるため、受講生間で小グループによるディスカッションやグループワークを実施する。リアクションペーパーを毎回 Teams で提出してもらい、授業の理解度や学ぶ姿勢などを評価する。					授業で提出したリアクションペーパーは Teams により個別に評価して返却する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
備考								
教員の実務経験	社会福祉士として高齢者支援に携わり 18 年の実践経験。							
実践的授業の内容	教科書の項目やシラバスの内容に沿って、教員が実践してきた事例(個人を特定できないよう加工)を用いたり、実践内容をソーシャルワークの基本に当てはめて説明を行ったりすることで、学生が科目内容をより具体的に学ぶことができるように学習を進める。							
その他	【履修についての条件】 *社会福祉士国家試験受験を希望する者は必ず履修すること。 【受講する際の注意事項】 ・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は原則禁止する。 ・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退室をしてもらう。							